

2022 年度 第4学期 歯学部		日英区分: 日本語
歯髓病態診断・治療学 Endodontology and Endodontics		
講義番号	科目区分	学期
076051		第4学期
ナンバリングコード	教室	
NDGD0DEDZ4006N	総診棟地下大講義室 講義室 1)	
必修・選択の別		
必修		
単位数	曜日・時限	
0.5	木4	
担当教員 (ローマ字表記)		
高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo], 山本 直史 [YAMAMOTO Tadashi], ARIASMARTINEZ ZULEMA [ARIAS MARTINEZ ZULEMA], 池田 淳史 [IKEDA Atsushi], 井手口 英隆 [IDEGUCHI Hidetaka]		

持続可能な開発目標 (SDGs)



■ 対象学生

歯学部 4年次

■ 他学部学生の履修の可否

否

■ 連絡先

高柴正悟 教授

電話 :086-235-6675

ファックス :086-235-6679

e-mail :stakashi@okayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

全体に関しては、月曜日 8:00~9:00 火曜日 17:00~18:00 木曜日 8:00~9:00 (いずれも、歯学部棟7F 歯周病態学分野)

★事前の連絡を、高柴まで本学の公式e-mail addressを用いて、行うこと 携帯メールは迷惑メールに分類されて対応できない場合あり。

詳細に関しては、実務担当者へ確認してください。

■ 学部・研究科独自の項目

歯学教育モデル・コア・カリキュラム 平成 28 年度改訂版)

A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力

A-3 診療技能と患者ケア

A-5 チーム医療の実践

A-5-1) 患者中心のチーム医療

A-6 医療の質と安全管理

A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防

A-8 科学的探究

A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養)

A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

A-9-1) 生涯学習への準備

C 生命科学

C-4 感染と免疫

C-4-1) 感染

C-4-2) 免疫

C-5 病因と病態

C-5-3) 修復と再生

C-5-5) 炎症

D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)

D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途

D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法

E 臨床歯学

E-1 診療の基本

E-1-1) 診察の基本

E-1-2) 画像検査を用いた診断

E-1-3) 臨床検査

E-3 歯と歯周組織の常態と疾患

E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能

E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療

E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

■ 使用言語

学生により日本語又は英語

■ 授業の概要

歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病態を生物学的な基礎に基づいて解説し、これらの疾患の病因、診断、治療法、ならびに予防法を教授する。

■ 学習目的

一般目標 (GO) :

個々の患者の歯髄疾患・根尖性歯周疾患を適切に診断しそれに基づいて治療を行うために、歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病態と病因、診査、診断、治療法、ならびに予防法を理解する。

■ 到達目標

行動目標 (BOs) :

1. 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病態を細菌感染と生体防御のバランスの観点から説明できる (想起)
2. 根尖歯周組織破壊のメカニズムと治療に伴う治癒のメカニズムを説明できる (想起)
3. 歯種ごとに根と根管の解剖学的形態の特徴が説明できる (想起)
4. 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の分類とそれぞれの疾患の特徴を説明できる (想起)
5. 各疾患の診査・診断と治療法について説明できる (想起)
6. 根管治療器具の種類と使用法を説明できる (想起)
7. 臨床所見とX線所見に基づいて、その症例の診断ができる (解釈)
8. 診断に基づいて、基本的な治療計画を立案できる (問題解決)
9. 個々の症例ごとに診断に基づいた治療を行う習慣を身に付ける (態度・習慣)

■ 授業計画

第 1回 12月 8日

歯内疾患・根尖性歯周炎の病態診断：歯内療法学の歴史と発展

高柴正悟 教授

第 2回 12月15日

歯内疾患・根尖性歯周炎の治療：口腔内科学とのつながり

高柴正悟 教授

第 3回 12月22日

病態診断から治療へ 治療の分かれ目 診査・診断を中心に)

山本直史 准教授

第 4回 1月12日

歯内疾患・根尖性歯周炎の治療1：解剖学を考慮した根管治療の必要性

Arias Martinez, Zulema Rosalia 助教

第 5回 1月19日

歯内疾患・根尖性歯周疾患の治療：生体反応と治癒の様式

平井公人 助教

第 6回 1月26日

歯内疾患・根尖性歯周炎の治療2：歯の移植・再植 内部吸収と外部吸収含む)

池田淳史 助教

第7回 2月2日
歯内疾患・根尖性歯周炎の治療3：外科的歯内治療と非典型的な症例
井手口英隆 助教

第8回 2月9日
試験：歯内療法学」をまとめる
高柴正悟 教授

■授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

予備知識を持っていないくても、自ら勉強して自分自身を改善するための感覚/動機を持っているべきです。基礎科目や他科目との連携を常に考えることが大切です。

■授業形態

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

90%:10%

(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

少ない

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

少ない

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

やや少ない

理解の確認・促進(問題演習、小テスト小レポート授業の振り返りなど)

多い

(3)授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

(4)授業形態-履修者への連絡事項

教員の要求に応じて、印刷物 配布資料)、スライド、ビデオ、インターネットが使用されます。

次のリンクでムービーや資料を見なければなりません。

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind21/lectures.html>

■使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライドCD、DVDなど)

多い

学習管理システム(Moodleなど)

少ない

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

少ない

履修者への連絡事項

PowerPoint等を用いた視覚教材

学生はICT機器を用いて、資料収集 研究分野のHP等から)

■教科書

備考

講義中に適宜紹介する。

事前に、<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind21/lectures.html>にある歯髓病態診断 治療学 Endodontology and Endodonticsの資料を予習しておくこと。

選択すべき教科書群：

1. 歯内治療学 第3版、戸田忠夫 編纂)、医歯薬出版、定価 :10,800円

- 2 パーフェクト歯内療法, 高島憲二 著), デンタルダイヤモンド社, 定価 :10,800円
- 3 歯内療法失敗回避のためのポイント47—なぜ痛がるのか、なぜ治らないのか、高橋慶壮 著), クインテッセンス出版, 定価 :13,650円
- 4 楽しくわかるクリニカルエンドントロジー, 小林千尋 著), 医歯薬出版, 定価 8,400円
- 5 エンドンティクス21 歯内療法カラーアトラス, 須田英明 編集主幹), 永末書店, 定価 本体5,700円＋税
- 6 Cohen's Pathways of the Pulp Expert Consult, Kenneth M Hargreaves & Louis H Berman, Mosby, \ 16,882

参考書				
参考書1	ISBN	978-4263446195		
	書名	世界基準の臨床歯内療法 第2版		
	著者名	石井宏編著		
	出版社	医歯薬出版	出版年	2021
参考書2	ISBN	978-4781208282		
	書名	日本歯内療法学会がすべての歯科医師に贈る最新トレンド: 明日の臨床に役立つ知識と技術を徹底解説		
	著者名	日本歯内療法学会編		
	出版社	クインテッセンス出版	出版年	2021

備考
 講義中に適宜参考書を紹介する。本講座が作成した実習書を各論講義にも用いる。講義の資料も配布する。また、図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。

成績評価基準 授業評価方法)
 毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また、講義内容に関する筆記試験（単に知識を求めるものではないことに注意）を行う。試験60点、レポート30点、出席10点

受講要件
 歯学部生は必須

教職課程該当科目
 この項目は当該科目には該当しない

JABEEとの関連
 関連しない

持続可能な開発目標（SDGs）
 (保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

実務経験のある教員による授業科目
 該当する
 担当教員は、歯科医師であり、Endodontology & Endodonticsの研究と臨床実践を行っています。

備考/履修上の注意
 実際の講義は、講座ならびに診療科の他のスタッフの協力を得て、それぞれのスタッフが得意とするトピックスについて講義することがある。
 すべての教員は歯科医師です、そして彼らは臨床歯科診療の経験を持っています。

学習成果（COs）		
学修成果（COs）」	関連するコア・コンピテンシー	評価の方法
歯科医療に関連する生命科学的知識を身につけ応用できる。	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	ディスカッション、レポート、筆記試験
歯科領域の各種疾患の基本的な予防と治療を計画・実施できる。	論理的思考力	ディスカッション、レポート、筆記試験
世界的水準で歯科医学的に重要な事象を理解し議論できる。	多文化・異文化に関する知識の理解	ディスカッション、レポート、筆記試験
歯科医学における問題を発見し、科学的解決に導くことができる。	問題解決力	ディスカッション、レポート、筆記試験

※ コア・コンピテンシーに関する説明